

第8期(2024年度) 人事部門責任者フォーラム

《共通テーマ》

【DX時代における人材の確保、育成、動機付け、並びに雇用・人事システムのあり方】

■期間 2024年4月～2025年3月(毎月1回、全12回※第1回休会)18:30～20:20

■年会費 10万円(税別)

■対象 各業界を代表する企業の人事部門の部門長、部・次・課長クラスから将来を嘱望される若手の方々を中心に、毎回、各社5名様までのご参加が可能です。(年度途中でのご入会も可能です。)

■目的

1. 各業界を代表する企業同士の、親密なネットワーク・仲間づくり
2. 他社に率直な相談ができるコミュニケーションインフラの提供
3. 経営と人事と育成に関わる本質的でかつ鮮度の高い問題提起の場を提供
4. 新しい経営・人事情報の共有、新しい発想・アイデアのきっかけづくり

■幹事
三菱商事株式会社 執行役員 人事部長 柏原 玲子 氏
株式会社関電工 労務人事部長 永友 裕 氏
日本クッカー株式会社 監査役 黒田 哲弘 氏
NECライフキャリア株式会社 代表取締役社長 佐藤 秀明 氏
大和ハウス工業株式会社 人財・組織開発部 担当部長 松久 功 氏
ヴェオリア・ジャパン合同会社 副人事本部長 上南 順生 氏

■コーディネータ

齋藤 智文(株式会社組織と働きがい研究所 代表取締役)

内野 崇(学習院大学 名誉教授/経営研究所代表理事)

島岡 未来子(早稲田大学 研究戦略センター 教授/

神奈川県立保健福祉大学 大学院 教授)

■アドバイザー

今野 浩一郎(学習院大学 名誉教授)

守島 基博(学習院大学 経済学部 教授)

禿 あや美(埼玉大学 准教授)

主催 一般社団法人経営研究所

【『人事部門責任者フォーラム』へのご参加のおすすめ】

企業で活躍されている方、大学等で研究をされている方、コンサルタントとして企業の指導をされている方などを、毎回ゲストスピーカーとして招へいします。ゲストには、企業事例発表や企業経営や人事に関する提言をしていただきますが、フォーラムの名称の通り、話を聴くだけの会合ではなく、幹事各位、参加者各位相互に質疑応答や意見交換を行い、交流を深めます。

産・学・官の交流を通じて、“人事と経営”をコアにした今後のあり方について議論を深め、自社を越えて人事課題、経営課題についてフランクに相談できる仲間づくり・ネットワークづくり、の場として、また“人事と経営”に関わる問題意識を鍛え、未来に向けた着想とアイデアの源泉の場を提供いたします。

いうまでもなく、企業の存続・成長にとっての要は、まさに人材であり、人的資源のあり方、その蓄積・活用の方途が今まさに問われています。参加企業の皆様と力を合わせて活気に溢れたフォーラムづくりを目指したいと存じます。今回のコロナを奇禍として、雇用・人事・働き方改革の課題と展望をふまえ一新しい知と実践の地平の開拓を！

【2024 年年間予定】

原則第 4 月曜日(18:30~20:20)

| | | |
|--------|--------------------------------|---|
| 第 1 回 | 4 月 22 日(月) | 「“人への投資”がもたらす成果—どうすれば投資が実現するのか」 藤村 博之 氏(独立行政法人労働政策研究・研修機構 理事長) |
| 第 2 回 | 5 月 27 日(月) | 「ドラッカーから学ぶ「テクノロジストの条件」」 井坂 康志 氏(ものづくり大学 教養教育センター 教授/ ドラッカー学会共同代表) |
| 第 3 回 | 6 月 24 日(月) 浅井塾と合同 | 「これまでの取り組みとエンジニアに学ぶこれからの人材に求められること」 武田 雅子 氏(株式会社メンバーズ 専務執行役員 CHRO ピープル&カルチャー本部長) |
| 第 4 回 | 7 月 22 日(月) | 「ソニーの人事施策~これまで、今、そしてこれから」 安部 和志 氏(ソニーグループ株式会社 執行役 専務) |
| 第 5 回 | 9 月 30 日(月) 第 5 月曜日 | 「三菱商事の人事戦略について」 柏原 玲子 氏(三菱商事株式会社 執行役員 人事部長) |
| 第 6 回 | 10 月 28 日(月) 浅井塾と合同 | 「我が国の“雇用・人事のあり方”をめぐって — 拡大する政府の役割」 樋口 美雄 氏(慶應義塾大学名誉教授) |
| 第 7 回 | 11 月 28 日(木) 木曜日開催 | 「労働法改革の方向性と課題」 水町 勇一郎 氏(早稲田大学法学学術院 教授) |
| 第 8 回 | 12 月 16 日(月) 第 3 月曜日 | 「セイノーホールディングス株式会社における人財育成」 渡邊 久人 氏(セイノーホールディングス株式会社 執行役員コーポレート 推進部・人事部・サステナビリティ推進部担当) |
| 第 9 回 | 1 月 27 日(月) | 「人事部は新事業開発にどう貢献出来るのか? -エフェクチュエーション入門-」 樋原 伸彦 氏(早稲田大学大学院経営管理研究科 准教授) |
| 第 10 回 | 2 月 10 日(月) 第 2 月曜日 | シンポジウム 斎藤智文、内野崇、島岡未来子 |
| 第 11 回 | 3 月 27 日(木) 木曜日開催 浅井塾と合同 | 「これからのシニア人材の活用をめぐって」 竹内 規彦 氏(早稲田大学大学院経営管理研究科 教授) |

※テーマは変更になる場合がございます。 8月は夏休みにて休会となります。

提言者の所属・役職は 2023 年 4 月 1 日付となります

第 7 期(2023 年度) 人事部門責任者フォーラム テーマ・提言者一覧

| | |
|---|--|
| 「先の見えないこの世界をどう経営するか? ~Jリーグの朝礼より~」 | 村井 満 氏(日本バドミントン協会副会長/ 元リクルートホールディングス執行役員/元リクルートエージェント社長/元日本サッカーJリーグ理事長) |
| 「日本企業の“雇用と人事”をめぐる課題と今後の展望」 | 山田 久 氏(法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授/株式会社日本総合研究所客員研究員) |
| 「人事の視点から見たグループ経営の課題と展望」 | 佐藤 邦彦 氏(Thinkings 株式会社 執行役員 CHRO) |
| 「転職者から見た魅力ある企業の人事制度のありかた」 | 宮田 寛子 氏(SOMPO システムズ株式会社 人材統括部) |
| 「人的資本経営:開示と育成と人事の DX を考える」 | 大湾 秀雄 氏(早稲田大学政治経済学術院 教授) |
| 「従業員のウェルビーイングと健康経営」 | 山本 勲 氏(慶應義塾大学商学部 教授) |
| 「経営学から考える、個人の”優秀さ”への向かい方」 | 服部 泰宏 氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授) |
| 「これからの職場におけるリーダーシップ」 | 鈴木 竜太 氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授) |
| 「これからの人事管理を考える」 | 今野 浩一郎 氏(学習院大学名誉教授/学習院さくらアカデミー) |
| 「“Leadership for a better world” 日本は「優れた社長」を求めている!」 | 岩上 順一 氏(エゴンゼンダー株式会社 金融グループ責任者) |
| 「総括」 | 内野 崇(学習院大学名誉教授) |

【コーディネータ紹介】

齋藤 智文

株式会社組織と働きがい研究所 代表取締役。一般社団法人日本能率協会で能力開発部マネジャー、経営技術本部主査、戦略経営推進部チーフプログラムディレクター、人事革新センター部長など組織・人事分野の課題解決を担当する部門の責任者を歴任。2005年11月よりGreat Place to Work® Institute Japan チーフプロデューサー、2008年7月より組織と働きがい研究所代表、2017年4月より淑徳大学経営学部教授、2024年4月より現職。著書『働きがいのある会社-日本におけるベスト25』(単著)、『世界でいちばん会社が嫌いな日本人』(単著)、『日本人 NIPPON JINJI』(共著)、『最高の職場』(共訳)、『働きがいのある会社とは何か-「働きがい理論」の発見』(共訳)ほか。

内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。三井住友建設株式会社取締役。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

島岡 未来子

早稲田大学研究戦略センター教授。神奈川県立保健福祉大学大学院教授。早稲田大学にて博士号取得(公共経営)。国際NGOで管理職を経験後、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)特任研究員、早稲田大学商学大学院WBS研究センター助手、研究戦略センター准教授、政治経済学術院教授を経て現職。

大学における起業家教育の強化に向けた「文部科学省グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)」、「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)」の採択を受け早稲田大学で実施する「WASEDA-EDGE人材育成プログラム」の運営に携わり、2016年より事務局長代行、2019年より事務局長。東京大学・東京工業大学・早稲田大学が主幹を務めるGTIE(Greater Tokyo Innovation Ecosystem)プログラム代表補佐。早稲田大学パブリックサービス研究所研究員、WASEDA-EDGE起業家育成プログラム事務局長、環境省地域循環共生圏事業アドバイザー委員。

共著書に『場のイノベーション』(共著:中央経済社)、『非営利組織経営論』(共著、大学教育出版)“Innovation in Global Entrepreneurship Education: Teaching Entrepreneurship in Practice, Edward Elgar など。

【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

【今までにご参加いただいた企業の一部】

ANAホールディングス、花王、関電工、麒麟ホールディングス、コマツ、資生堂、全日本空輸、トヨタ自動車、日本アイ・ビー・エム、日本水産、日本電気、富士フイルム、レノボ・ジャパン、三菱地所、三菱商事(以上、幹事企業)、AGC、アサヒグループホールディングス、アサヒビール、アステラス製薬、アボットジャパン、イオン、江崎グリコ、オリックス、オフィス中村、カゴメ、川崎汽船、クレディセゾン、神戸製鋼所、サトーホールディングス、サンデン、JXTGホールディングス、シーズ・スリー、シーエーシー、シーメンス・ジャパン、ジョンソン・エンド・ジョンソン、SOMPOシステムズ、大日本印刷、電通、東武鉄道、日本生活協同組合連合会、パイオニア、博報堂、パナソニック、日立製作所、ライオン、福井コンピュータホールディングス、ベネッセコーポレーション、前田建設工業、三井化学、三井住友建設、三井ホーム、コベルコ・ビジネスパートナーズ、東京エレクトロン、カルビー、ヒューマンプ、三井金属工業、サッポロビール、みずほリサーチ&テクノロジーズ、ブリヂストン、ジョイワークス

【参加申込方法】

■年会費

1社100,000円（税別）

*年度途中のご参加も可能です。尚、年会費はお申込み頂いた月より1年間となります。次年度より自動更新となります。

■申込方法

所定申込書に必要事項をご記入の上、FAXかメールでご送付下さい。

■連絡先

連絡先 一般社団法人経営研究所 事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル B1F
TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208
E-mail:keieikenkyusho@keieik.or.jp URL:<http://www.keieik.or.jp>



【会場案内図】



【三菱ビルへの行き方】

・JR

「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分

京葉線「東京駅」10番出口より直結

・地下鉄

千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分

丸の内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分

都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分

東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

2024年度(令和6年度)

『人事部門責任者フォーラム』参加申込書

【貴社ならびに担当事務局様の情報】

年 月 日

会社名

氏名 (✓をご記入ください □会員 □連絡ご担当者)

E-mail

住所 〒

TEL

属部署および役職名

*参加は会社単位で、1社5名の会員の登録ができます。実際にご参加なさる方の氏名、所属・役職、メールアドレス等は、後日、参加者が決まり次第当方にお知らせいただければ結構でございます。

【請求書送付先】 ✓をご記入ください

◆請求書はメールにてお送りします。

◆請求書宛先が上記の方と違う場合は、お名前、ご所属、メールアドレス、電話番号をお知らせください。